# 運営方針会議議事要録

１　日　付　２０２６年1月２９日（木）
２　場　所　Ｗｅｂ会議
３　出席者　冨永総長
　　青木　尾崎　帯野　境田　東　宮田　Price　Favre　各委員
　　(陪席)
　　植木理事　伊豆副学長　福田監事　田口監事
　　(事務局)
　　阿部事務機構長　木村総務企画部長　木村主任経営企画スタッフ
　　古川総務課長
４　欠席者　なし

５　議　事
○　前回運営方針会議（２０２５年１１月２８日）議事要録（案）の確認
東議長から資料に基づき、上記議事要録（案）の可否について諮り、これを承認した。

○　議　事
（1）中期目標・中期計画の変更
青木委員から資料に基づき、中期目標・中期計画の変更について説明があった後、諮り、原案どおりこれを議決した。
（2）国際卓越研究大学：体制強化計画の進捗状況
冨永総長及び青木委員から資料に基づき、国際卓越研究大学研究等体制強化計画の進捗状況について説明があった。なお、運営方針委員からあった意見の概要は次のとおり。
・東北大学の研究が国際的にどれほど認知されているかを示すため、論文の被引用数の推移を指標化し、KPI として活用することは非常に有用である。
・AI を活用することにより、日本語で作成した成果物を英語・フランス語等の主要言語へ即時に翻訳し、多言語発信を強化することで国際的認知度を高めるべきである。
・電子ブックの充実は基礎的なインフラとして非常に重要である。
・東北大学の強みとして文系の研究者を全学的なプロジェクトにより一層活かしていくべきである。
・東北大学が全国的な注目を集めている今こそ、他大学からの共感も得られるような高度な広報戦略の構築が重要である。
・国全体で留学生の規制強化の議論がある中で、その制度に関して大学として必要

な制度改正や規制緩和を要望していくことは重要である。

・特定の国や地域に偏らず世界各地から優秀な留学生を受け入れるため、支倉リーグ等の国際ネットワークを活用した奨学金制度や学費支援を含む新たな留学生戦略を検討すべきである。

・研究者の国際公募の倍率が高い現状をさらに拡大できるような方策を検討いただきたい。

以 上